

二月の天候予想  
官崎測候所一月発表

本邦付近は高圧帯になり、オホーツク海方面は気圧が低目となりましうこのため、上・中旬は暖冬傾向がつよく寒さはしのぎやすいでしょう。しかし下旬には天候がくずれやすくなり、気温も雨量は平年並となりましうです。

# 館山市広報

編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1,145番地の1 電話館山1501~1507番

昭和36年

1月18日

第106号

(毎月1回発行)

## 12月の人口動態

総人口	57,645人
男	27,504人
女	30,141人
世帯数	12,987世帯
出生	90人
死亡	58人
婚姻	29件
離婚	53件
死産	2件
出生	6件



## 昭和三十六年 謹賀新年 1961年

館山市役所									
市長	田村 和男	市議	副議長	山本 昇	市議会議員	(議席順)	山本 昇	黒川 佐太郎	脇田 順一
助役	小出 武男	事務局長	高梨 滿一	収入役	山谷 潤一	秘書課長	山口 實	総務課長	真田 森吉
税務第一課長	多田 俊一	税務第二課長	多田 俊一	商工課長	羽山 房雄	農産課長	吉田 耕一	市民課長	高木 哲三
厚生課長	伊藤 幸太郎	保険課長	神作 啓次郎	建設課長	新井 重助	福祉事務	長谷川 応治		
市選挙管理委員会	委員長 鈴木 謙三	市監査委員会	委員長 藤田 正	市公平委員会	委員長 小原 愈吉	市農業委員会	委員長 小滝 一計	市固定資産評価委員会	委員長 鈴木 謙三
市教育委員会	委員長 網代 富藏	市防務	防務長 安藤 龜吉	市消防署	消防署長 安藤 龜吉				

# 理想都市の建設に

## 更に一層の躍進を期して

館山市長 田村 利男



昭和三十六年の新春を迎え、市民の皆様にお祝いを申し上げます。去年は国際政局の面からは巨額会費の決裂、国内においては安保斗争、右翼のテロ等、どちらかといえは暗い年であったにもかかわらず、我が館山市に於ては新市庁舎の落成、姉妹都市ペリンハムのウエストフォード市長の来館、丸山中央ダム建設の最終調停の成立、更に脚光を浴びた国民休暇村の候補地としての館山等、皆様の御協力により数々の祝福すべき慶事が続々と我が館山市にもたらされた明るい年でありました。

その明るい心境で迎えた昭和三十六年には、私もつとつと大きな幸いもつとつとあるような、本当にほのぼのとした気持ちで感ぜられるのであります。

私はこの新春に際し、私達の館山を更に明るく住みよい街にするため一生懸命努力を続けてまいりました。市民の皆様にお誓いいたす次第です。

先ず第一に次代をなう青少年育成の場である教育施設の拡充、次いで躍進館山の原動力となるべき産業の振興、即ち農業漁業・商業方面、そして館山市のうすかつた工場誘致も、神戸地区平

砂浦に旧職場を移してまいるのであります。これが完成に全精力を傾注してまいりたいと存じます。

県立高等工業学校の新設も又焦眉の急務であるので関係機関とあわせて、東海道をゆく京葉工業地帯の躍進により、千葉県の姿は必ずや根本から新しい地域構成に塗りかえられ、千葉市・船橋市・木更津市等を中心とする一大工業地帯は益々万都市を実現することでありませう。

完備された道路網は東京

はかり、併せて活潑な活動を開始し、大いに希望をもつてその実現に努力してまいりたいと思っております。

そして道路の整備でありますが、これは教育・産業の振興等あらゆる面に関連するものであり、それらの振興発展の基盤と

館山を二時間で結び、我が館山市はこれらの集中した工業都市から、いこいを求めて訪れる青少年家族づれを吸収する理想の内なリゾート地帯としてクローズアップされる事は火を見ることより明らかであります。

私は、この夢を正夢とするべく、その第一歩としてレクリエーションの大眾化をモットーとする「国民休暇村」の実現を期し、政府・厚生省とそれ直接ぶつかつてまいりたいと存じます。

昭和三十六年度三百数十億の国家予算のもとに企画されている国民休暇村

### 皆さんと協力して

### 館山市の発展に努力

市議会議長 山本 昇



年には、皆様と共に住みよい明るい館山市を建設するために、手をとり合つて努力してまいりたいと願っています。

私は常に六万市民の総意を代弁するといふ自負と信念をもつて、良き市政の協力者であるという念を念頭に置き、お互に相寄り、相たすけ館山市民のため、ごんしの努力を捧げる覚悟でございます。

どうか市民皆様様の御指導、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

を、全国にさがけて我が館山に完成することは全市民にとつてこの上なき福音であり、未来の理想都市観光館山へのさきさきよきスタートである事を確信するものであります。

終りに、市民皆様の平素のご協力に深く感謝申し上げますと共に、今年も明るい希望に満ちた年とするために、更に一層のご指導をお願い申し上げます。最後に皆様のご健康を祈念して新春のご挨拶いたします。

完成した中央排水路

昨年4月から着手していた北条中央排水路工事（館山高校側）は、去る12月一ばいで完成いたしました。

この工事は失業対策事業として八十三万二千円で二排水路にしたもので、よい館山市の観光及び産業を始めとして、あらゆる点におきまして大なる貢献をもたらすものと期待するものであります。更に、現在着々と進められております市営住宅の建設・道路の舗装整備・社会福祉・教育施設の拡充、その一つ一つを挙げて参りましたも、本年はあらゆる面におきまして一大躍進の年と申ししましても過言でないと思つて、議会人として、この希望に燃えた年を迎え、なほ一層市民福祉の増進並びに教育・産業・土木等の整備発展と、文化都市建設のため、ごん身の情熱と努力を傾け、六万市民の必要に答えたいと存じております。

ここに、輝かしい昭和三十六年の新春にあたり市民皆様のご多幸をお祈り申し上げ、併せて所見の一端を申し添えてご挨拶いたします。

### 投票率のよかつた

### 17部落を表彰



11月20日の衆議院選挙及び12月1日に行なわれた参議院地方選出議員の選挙にあたり、83%以上の投票率をあげた町内・部落及び有線放送で公明選挙を推進した農業協同組合に、選挙管理委員会から表彰と感謝状が送られました。

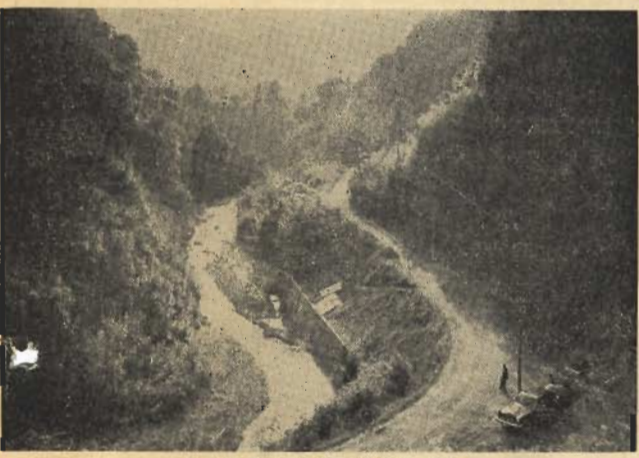
衆議院議員選挙関係

### 安房中央ダム工事

### 計画以来10年目で着工へ

昭和二十五年に計画された安房中央用水改良事業（丸山ダム建設）は、ダム予定地の丸山町大切・御子神・鯉岡の三部落の反対で難航を重ねていましたが、十二月にいたつて、遂に円満解決をみ、昭和二十五年以来計画されたこの問題も、近く地元民との調印が済み、ここに十年目で着工されるはこびになりまし

このダム建設計画は、館山市七百八十九ヘクタール三芳村七十九ヘクタール丸山町二百八十六ヘクタールの千五百五十四ヘクタールの地域にわたる用水不足をなくするために丸山川上流の御子神地先へ一大貯水池を新設し、これを二大貯水池とするため、丸山川建設により田畑二ヘクタール原野山林十



写真＝丸山のダム建設予定地

### 各家庭で必ず門標を

公明選挙推進関係

館山、西岬、神戸、豊房、館野、九重の6農業協同組合、なお、表彰されたこの部落の最高投票率は神戸地区の谷藤原が91%以上の投票率をあげてをります。

青柳、八幡、西郷、大塚、根本、谷藤原、平田、南台、神田町、山本第三、清水、岡、横枕の13部落、参議院議員選挙関係の4部落

一、一ヘクタールが二つぶれるため同所居住の四十八世帯が耕地を失うことからの反対がこり、反対期成同盟会など強硬に現在まで反対運動が続けられてきたもので、これまで百数十回のぼろ話し合いの努力が実を結んだもので、結局代替地を与え、今後の生活補償をたてまえたとして、三部落振興計画を中心とした土地改良を実施する事によつて話し合がまとまったものであります。

本年からの十年計画で、総工事費五億六千万円をもち、約二百五十万立方メートルの貯水量を大規模な隧道サイフォン、暗渠など二十七軒にわたる大幹線を新設してかんがいしようとするものです。

作名、山萩線の市道改良工事

市道作名・山萩線の道路改良工事が、工事費五十八万八千円で、延長二百八十三米、道幅四米で着工されました。

この工事は途中の木橋かけ替えをして、三月一ばいで完成する見込です。

新受入図書案内

館山市図書館

分類 書名 著者

総記 現代教養全集25 変貌する世界 白井吉見

歴史 日本の上記 北九州 志摩・熊野路 瀬戸内海・中国路 京都・奥丹路 四国路 南九州

社会 日本百年の記録 日本外交官の見た明治維新

科学 現代政治史年表 愛と結婚 日本社会党 上・下 東条英機と太平洋戦争 民事法律辞典 下巻 平和と自由のために力を合せよう

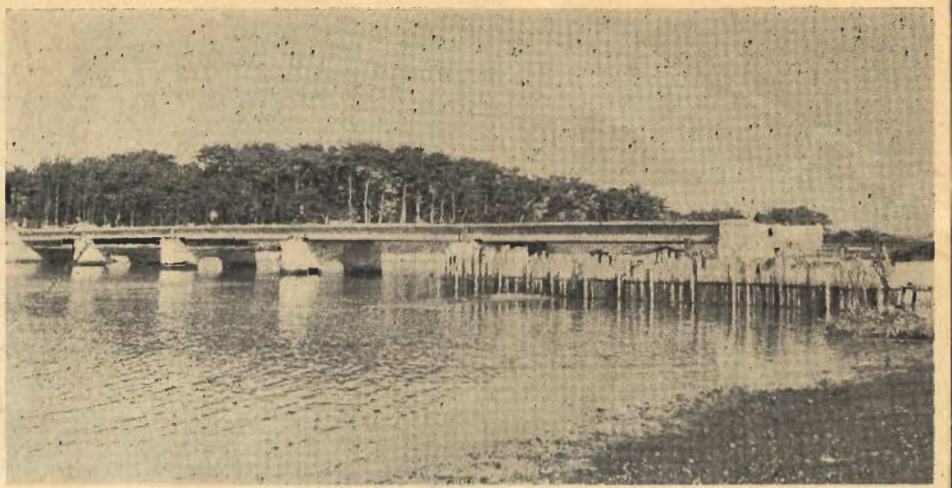
自然科学 原色動物大図鑑 第三巻 頭のよくなる本子供を遊ばせる方法 三〇〇の方法

工業 実践葡萄栽培新説 果樹園長総論 柑橘栽培大成 落葉果樹 芸術 一茶式華道初心てびかえ

文学 世界ノンフィクション全集9 ゲーテ全集 第三巻 現代名詩集大成 七・一 織田信長(4) 人生劇場(青春篇) 上巻 (愛恋篇) 上巻 (残俠篇) 下巻 (風雲篇) 下巻 (夢現篇) (離愁篇) (望郷篇) 下巻

石に咲く花 恋のあと 杖と笛の記 どのかどにか 戦国戦記 長祿の戦 非常階段 完全女性 南國道 蛇行 海女と一億円 結婚と銃弾 妖艶忍法帖 妖入り女房 箱入り女房 世界ノンフィクション全集 トロイヤルの黄金(他二篇)

富田常雄 三島由紀夫 中川重雄 高柳光寿 日影丈吉 京都伸夫 南条伸夫 木元正二 木村八朗 山田風太郎 角田喜久雄 尾崎士郎 編摩集 部秀郎



# 完成もまじかい 『館山大橋』の建設

総工費約三千万円で、昨年の春から着工していた館山大橋（湊川下流の中下）の建設は、橋台及び橋脚の第一期基礎工事が完成し、いよいよ近く第二期工事の上部構造が着工される事になりました。そしてこの完成は、三月下旬になつておりますがこれが完成しますと橋の長さは九十七・五米、巾員八・五米で郡市で一番長い橋になります。これによつて文字通り館山から船形まで一直線の海岸道路が完成し、観光面や産業面に大きなプラスが期待されます。なお、この橋の名前は昨年10月市広報で一般市民から公募してつけられたものです。

## どなたも福祉相談員です

### 申し込みは今月末までに

社会福祉という言葉が全くとわたくしたちの合言葉となり、政府原案の昭和三十六年度予算イコサナシ「一兆九千七百七十四」億円という大きな金額も、社会福祉が、公共投資・減税と共に三つの大きな柱となつております。

## 危険物取扱者の試験

### 受付は26日まで

- (1)試験日時 2月19日午前10時から12時まで
- (2)試験場所 千葉市で実施される予定で、詳細は受験票送付の際連絡いたします。
- (3)願書受付期間 1月16日から26日まで
- (4)受験資格 6ヵ月以上危険物取扱の実務経験を有する者
- (5)受験手続 受験願書(市消防本部に用意があります)受験願書に添付する書類(事業主の実務経験証明書(市消防本

を増す運動に進んで参加いたさうと思ひます。たださう左記によつて第一番にお申し込みください。

を補助運動に進んで参加いたさうと思ひます。たださう左記によつて第一番にお申し込みください。

究極の考え方として、館山市民の一人ひとり自分のために助け合い、ともに歩むことになり、それが望ましいので、特別に社会奉仕のための志願兵ともいふべき方々に、この運動の第一歩を60年の第一月からふみ出して

## 温い愛の結晶

### 募金額四十一万円



北条小の生徒、納豆を売り募金に協力

## 運動の助け合い

館山市民の温い愛の結晶が、この運動の助け合い運動として、市民の協力を得て、目標を達成する。

## 新春の出初式

### 機動化された消防



毎年恒例の出初式が、今年も七日の午前九時から二中校庭で、市内全消防(五百七十一名)が参加して盛大に行なわれました。本年の出初式で、特に感ぜられた事は、消防署はもろろん市内各分団ともすべて機動化された機動力のある消防車が、消防署五台分団二十台が配置されたこと、市内のどこの場所でも迅速な消防活動が期待されます。

## 36年度の市民税調査

- 1. 生活奉仕員
- 2. 青少年奉仕員
- 3. 老人奉仕員
- 4. 療養者奉仕員
- 5. 母子家庭奉仕員

本年の市民税調査は、市民税の課税資料調査を行つておられます。今年も正月中に、市の係員がそれぞれ各家を訪問し、昨年中の所得状況や家族構成などをお伺いします。ご協力をお願いします。

### 八教室を増築

本年度の中学校生徒の急増対策として二中に八教室を増築することになり、

### 昨年の火災発生

昨年度発生した火災発生件数は、前年よりも多くなりました。また損害額は、前年よりも多くなりました。火災の原因を調査し、火災の発生を防止するために、注意を促しています。

### 今月の税金は第4期

1月31日まで

# 国民年金に加入の

## 届け出はすみましましたか

### 4月1日から

いよいよ4月から国民年金制度の基本である拠出制(掛金をかける)国民年金が実施されます。この国民年金は、恩給や厚生年金、又は共済組合などに加入していない人達、つまり農業や漁業・商工業などの人達を対象に、恩給のように掛金をかけ、国がその一部を負担して、将来の生活保障をしようとする制度であります。館山市では、この年金加入対象が約一万四千八百人おりますが、この内12月現在で約79%の一万一千八十六名が加入済みとなっております。

### 全国一斉に

#### 任意加入者とは

任意加入者の資格については若い人と年をとった人とにわかれており、館山市では皆さんの便宜を考慮して、昭和36年4月1日以前に、昭和36年4月1日に20才以上50才未満の者が、この年金制度に加入して、公的年金受給権者の配偶者及び公的年金制度の遺族年金や遺族扶助料等の受給権者又は大学・高等学校に在学している学生(定時制の学生は除く)で、昭和36年4月1日に50才以上55才未満(明治39年4月1日から明治44年3月31日)の人で、公的年金制度(遺族年金遺族扶助料等の受給権者は除く)に加入している人(以下「任意加入者」といいます)に加入して、公的年金受給権者となるものとします。

#### 強制加入者とは

日本国内に住所を有する日本国民で、昭和36年4月1日に20才以上の人(20才未満の人は20才に達した日より20日以内)50才未満の人で公的年金制度の受給権を持つていない人の全部、及びその配偶者、なお、大学・高等学校(定時制の学生を除く)に在学している学生は除かれます。

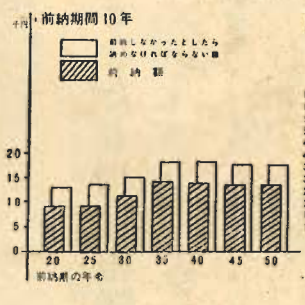
### 生活に困る人には 保険料の免除ができる

強制加入者は、国民年金の被保険者として義務的に加入しなければならぬのですが、加入者の中には生活に困る人又は不時の災害で急にお困りになった場合に備えて、保険料を免除する制度が設けてあります。この制度は、他の年金制度にない事で、その範囲

#### 保険料の前納制度

毎月保険料を納めるのが面倒であるという人達や、一年一回の定時収入がある農業関係者のために、保険料を前払いする事ができるようになっております。この前払い制度は被保険者に非常に有利なもので、ご利用される事をおすすめいたします。白いワケが月々納めた場合黒線のワケが前納の場合。

保険料を前納した場合の比較表



### 他の年金制度と 相互の通算ができる

例えば20才で国民年金に加入しても、その後数年で会社などに勤めて厚生年金などに加入しなればならぬと、その間の保険料がむだになつてしまふという懸念をもつ人もあるようです。これはもつともな疑問で、我が国では国民年金以外に、職場を単位とした年金制度がたゞさんあり、これらとの制度ではだいた20年加入しなければ年金(恩給)をもらえない事になつております。このような制度は、職場をかえたり、職を

ますので、この国民年金は他の年金制度を渡り歩いても保険料がかけ捨てにならないよう、つまりその人達が老後になつて必ず年金がもらえるように、他の年金制度との通算ができる事になつてい

### 大中に改正される

この拠出制国民年金制度の一部について、各方面から改善の要望が寄せられておられるので、この要望に答へ次のような改正を、実施の4月までに実行しよう準備されております。

(一)死亡一時金制度  
保険料のかけ捨てがなく、保険料を納付した期間が三年以上の被保険者で、障害年金もしくは母子年金を受給しなかつた者、又は老令年金の受給資格期間を満たしているが、まだ老令年金を受給していない者が死亡した場合に、その遺族に一時金を支給する。

(二)老令年金の繰り上げ減額支給  
65才の老令年金支給時期まで待てないという者の希望に応じて、老令年金の受給資格期間を満した者が、60才以上64才までの間に特に希望する時は65才からの本来の老令年金にかえて減額された年金の支給が受けられることとができます。

(三)保険料の免除  
保険料の免除認定は、この場合60才から受給する年金額は、本来の老令年金額のおおむね六割相当額になる見込です。

### 年金手帳が 決まりました

国民年金手帳の装幀が決まりました。この手帳は国民年金の被保険者一人一人に一冊づつ配布されるもので、四半年度ごとに同時に、この手帳の所定欄に国民年金手帳を貼つて、これを市役所に持ち行き消印をしてもらつと、保険料を納めたことになり、手帳の大きさは、縦15センチ、横10センチ、厚さ3ミリ、色はさわやかな感じの赤青など各々があつて、黒字で上段に「国民年金手帳」下段に厚生省と印刷されており、裏面は記号番号と氏名を書き入れる欄があります。なかは一頁が手帳についての注意書、二頁が住所氏名など、三頁が保険料前納の記録、次の頁から印紙貼布欄が一年分づつ六カ年あり、その裏面に保険料を納めること

### 印紙のデザインは

保険料を納めるための国民年金印紙の図案が決まりました。印紙は、一つ一五〇円の印紙は、いづ

なう事になつております。例えば、保険料を全額納付する事が困難であれば、半額程度であれば、半額程度の保険料で済む事ができますし、又国民健康保険料の納付によつて納める余裕がない場合にはこれを免除するようになつております。

無拠出制の年金には老令・障害及び母子の三種の種類の年金があり、これを福祉年金という名前で行なう事になります。この福祉年金は、すでに昭和34年11月から支給されております。これは年金の關係で拠出年金に加入できない人々のために設けられておるもので、拠出年金が始まるとして、昭和34年11月より支給されておる人は、すべて国民年金に加入し、保険料を納めなければならないようになりますが、この場合、所得が少なく百円又は百五十円の保険料を長期間納め

られない人も生じてくる事が予想されます。このために、この制度には、例えば、老令年金は25年以上保険料を納める事ができない人は、10年以上納めていなければ残りの15年以上が免除されて、拠出制の老令年金がもらえるようになっておる事になります。しかもこの10年以上の保険料を納められない人については、拠出制の老令年金は支給されませんが、必ず無拠出制の老令年金が支給されるようになっておる事になります。これを補完的福祉年金とよんでおる事になります。福祉年金は無拠出年金より支給条件が厳格な年金となつておる事になります。例えば老令福祉年金は拠出制が65才支給であるのに、70才支給です。しかも福祉年金には、所得が比較的高い人には支給しないという制限もあり、拠出制年金と比べると、いろいろな点に制限があります。しかし、いづれにしても、保険料をまじめに納めていれば必ず拠出年金がもらえる事になります。保険料を納められない人は、無拠出年金がもらえる事になります。

本人の所得  
13万円を20万円まで(所得税のかかるまで)  
扶養義務者の所得  
50万円を70万円まで  
他の公的年金との併給  
老令福祉年金は年一万二千円以上、障害福祉年金は年一万八千円以上、母子福祉年金は年一万二千円以上(二人目の子から一人につき二千四百円が加算)それぞれ他からの年金が支給されていると福祉年金はもらえない事になつております。これ

未支給年金の支給  
福祉年金の受給権者が途中で死亡すると、現行の



新しい国民手帳

制度ではその者がまだもらつていなかった年金を遺族にもらえなかつたのですが、これが改められ遺族がもらえるようになります。

障害・母子年金も支給範囲が拡張  
昭和34年4月前(福祉年金施行前)に二級以下の身体障害者にあつた者がその後他の部位が障害となつた場合は、両方併合して一級身体障害者の支給対象になります。  
夫と死別した母子世帯の年金についても、これを準母子世帯、つまり祖母と孫の世帯、姉と妹の世帯が拡張されます。この場合、現行制度ではその母が25才以上の子供と同居している、その子供が失業又は病氣などでない限り年金は支給されなかつたのですが、これが全面的に解除され、25才以上の子供が同居している、その母が生計を主宰していれば母子福祉年金は支給されることになりました。